

# みぞくちミニ新聞

発行元  
みぞくち

購読無料  
毎月発行

## 「いただきます」

## 「ごちそうさま」は

### 感謝の気持ち

ある人から、最近の人は食事の時に「いただきます」「ごちそうさまでした」を

言わない人が多い、と聞いた。みぞくちのお昼ご飯の時、皆さんの様子をうかがった。3割ぐらいの人は「いただきます」と言うか、手を合わせてから食べ始めていた。

「いただきます」「ごちそうさまでした」と言っている人の中にも、ご飯を作ってくれた人や、食べ物に感謝の気持ちを込めている人はどのくらいいるのだろうか？

利用者の皆さんの中には、調理員さんを見つけたら、「今日も美味しかった」とわざわざ伝える人もいます。何気ない日常の一コマだけ、とても大切な事のように思う。

食事という日々の当たり前の事だけれども、とても大切な事、に感謝する気持ち。これは、話してすぐ伝わるものではないかもしれない。けれども決して軽んじてはならない事。

最初は形から入るしかないかもしれない。でもいずれその中に気持ちを込められるようになって欲しい。所長自ら気持ちを込めて、今日も「いただきます」「ごちそうさまでした」

## まさに職人

## 脱帽です

先日、仕事の合間に就労の皆さんの仕事ぶりを見させてもらった。その日は多くの人が屋内作業で、フルネット・バリ取り・軍手作業に取組んでいた。眺めるだけより少しでも手伝おうと、フルネット作業に久しぶりに関わった。日常会話を交わしながら、ネットを折っていく。そのうちよつとした違和感を感じた。あれ、自分の方が作業が遅いか？ 相手の利

用者の方は70歳のMさん、よくよく比べると確かに自分の方が手さばきが悪い。負けん気の強い所長。しばし会話を止めて、真剣にネット折に取組む。これでどうだ！・・・やはり所長の方が出来が遅い。まいった。さすがMさん、毎日こなさず。所長脱帽です。

## たまに降る雨にも危機感を！

所長や他のスタッフは小降りになるのを待つて車に乗り込

6月22日その日は土曜日。利用者の皆さんも1日の活動を終え、帰路に付いた。さて、所長はいつものようにトイレや室内の掃除。スタッフは1日の様子を日誌にまとめよう。ようやく仕事を終える頃、にわか雨が降ってきた。夕立かと眺めていたがなかなか止まない。そのうちさらに激しさを増してきた。これはいけない！ みぞくちは雨漏りのする所がある。急いで点検。そして駐車

場は大粒の雨水で、見る見るうちに池の様相。久々に降った大雨でスタッフも車に乗り込めない。そこに若手スタッフの林君登場。おもむろにズボンの裾を捲り上げ、「帰ります！」と一言。車に向かって歩んでいく。傘もささずに。はたから見ている所長は、「彼は男だ」と感じた。だが、10m程先にある車に向かうだけで、すでにびしょびしょ。「やはり、あさはか」。

この頃は雨の降り方も予想できない。常に危険意識を持って行動する事を再確認した。